

機に科学觀は大きく転換する。熱力学や電磁力学などの原理が産業に応用され、「有用な技術」と見なされていった。

「実用一辺倒で、科学が歪められてきた」という

面はある」と指摘する的是池内了・総合研究大学院教授(物理学)。池内は近著「科学と人間の不協和音」(角川書店)で、科学を実用的に扱う「科学の技術化」の弊害を指摘する。技術的合理性で判断しなければならないときに経済合理性が優先されてしまう危うさがあるというのだ。

東京電力福島第1原子力発電所の事故をきっかけに、科学技術のあり方を巡る議論が広がっている。近代科学の原点にある精神を再検討し、実用一辺倒の「工学」の運用を見直したり、倫理学など人文の考え方を取り入れたりすべきとの声が上がる。「安全神話」を支えてきた従来の科学觀が揺らぐ今、社会との関係を問いつて科学の新たな役割を探る動きだ。

昔は「自然哲学」單なる工学と考えていた。そのことが万能主義だと盲信につながった。今それを反省すべきときに来ている」と山口は言う。

「どんなことがあっても起き上



Absolute space 18 (2011年)

松原昭俊個展「湧光」より(17~29日、京都、アートギャラリー博宝堂)

いう思いがあった。だが18~19世紀の産業革命を見なさいといった。

「実用一辺倒で、科学が歪められてきた」という面はある」と指摘する的是池内了・総合研究大学院教授(物理学)。池内は近著「科学と人間の不協和音」(角川書店)で、科学を実用的に扱う「科学の技術化」の弊害を指摘する。技術的合理性で判断しなければならないときに経済合理性が優先されてしまう危うさがあるというのだ。

OSK日本歌劇団の創立90周年記念公演が大阪松竹座で12日から上演。そして「尾を来年4月に

## 文化往来

る(22日まで)。

OSKは1922年に松竹樂劇部として創立し、後に大阪松竹歌劇団(OSK)と改称した。歌手

記念公演は大阪に続き7月7日

に(22日まで)。それは男役トップスターの桜花昇

ばる。OSKの川内英幸社長はま

づれで名護屋城に着いた。その時には予定の半分

も出来上がりなかつたが、秀吉は天守の絵に

固執し、明使が帰国するまでに仕上げよと厳命し

たのだった。

## OSK日本歌劇団が創立90周年公演

17日に京都南座

(京都市)で「レ

D」と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK

が実って翌年復活を果たす。

日生劇場(東京・千代田)の「レ

ーリズム・コレクション」(大

きり)をテーマに第

1部はOSKの歴史を舞踊化した和物「桜舞う九重」(山)と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK」(大)

きり)をテーマに第1部はOSKの歴史を舞踊化した和物「桜舞う九重」と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK」(大)

きり)をテーマに第1部はOSKの歴史を舞踊化した和物「桜舞う九重」と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK」(大)

きり)をテーマに第1部はOSKの歴史を舞踊化した和物「桜舞う九重」と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK」(大)

きり)をテーマに第1部はOSKの歴史を舞踊化した和物「桜舞う九重」と並ぶ三大少女歌劇の一「ビューアン・キョウト」として名作「シンデレラ・パリ」などを上演。そして「尾を来年4月に

洋物「GLORIOUS OSK」(大)



震災後の科学を考える書籍や雑誌の刊行が相次いでいる

## 原発事故契機に

# 科学見直し、文化の視点で

原発事故契機に

## 精神性取り戻す必要

議されているが、同様の問題は1950年代に明るみに出た水俣病、60年代の薬害スモンなど過去の事例にも共通している。因果関係の検証が曖昧なままに時間が経過し、科学技術の運用を文化の視点として考えようという視点がある。

「事故の本質を科学だけの問題として捉えるのは難しい。技術者の倫理感のありようや、誤った判断を導いてしまう社会・

近代化を急いだ日本は科學から精神性を排除し、これまでの「盲信」の裏返しともいえる。「明治以降に

の提言も出てきた。加藤尚武・京大名誉教授(哲學・倫理学)が昨年11月に刊行した『災害論』(世

界思想社)は、事故の発生確率に基づいて科学技術の安全性を考へる従来の発想に、哲学の視点から批判を加える。

加藤は「何度も繰り返されるような事象には確実論は有効だが、特殊な条件が偶然重なってただ一度生じる歴史的事態には意味を持たない」とい

う。哲学者パースの見方から、巨大技術を安全に運用するためのヒントを米国のプラグマティズムの哲学者パースの見方から、巨大技術を安全に運用するためのヒントを得ようとしている。

「危険な技術を使うのはやめよ」というのは短絡的な学問分野から英知を結集し、科学技術のリスクを管理する方法を考え

ることだ」と加藤。例えば「認識」のありようを考へる哲学者は、科学者同士の判断のすれば調整する役割を担える「合理主義」が揺らぐ中で科学のあ

りようが問われているだけではない。哲学者もまたどうあるべきかを問われている」と加藤は考える。

物理学者の寺田寅彦(1878~1935年)は「津浪と人間」というエッセーで「人間の科学は人間に未來の知識を授ける」と述べた。原発事故といふ危機が図らずももたらした議論をまとめあげ、科学と社会が共生する知恵を生み出すことが求められる。〔敬称略〕

(文化部 干場達矢)

ことだ」と加藤。例えば「認識」のありようを考へる哲学者は、科学者同士の判断のすれば調整する役割を担える「合理主義」が揺らぐ中で科学のあ

りようが問われているだけではない。哲学者もまたどうあるべきかを問われている」と加藤は考える。

天守五層の高さは三十丈ちかい。久藏はそこから転落し、地面に激突して命を落とした。哲学者は、科学者同士の判断のすれば調整する役割を担える「合理主義」が揺らぐ中で科学のありようが問われているだけではない。哲学者もまたどうあるべきかを問われている」と加藤は考える。

等伯は衝撃のあまり意識が遠のきそうになつた。「足場が、どうして急にくずれたのだ」等伯は衝撃のあまり意識が遠のきそうになつた。

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使つた。結びの綱は麻入りを用いた」「材木が調達できませんでしたので竹を用いましたが、強さに問題はありませんでした。綱は棕櫚をませてない上げたもので、何人が乗つても切れないので二重三重に巻いておりました」

「それなら何故くずれた。何故久藏がそんな目に遭つたのです」

「甘党で日吉に鏡になつた。亮太郎くんによれば「何も考えず作り始めてみると、陶芸は音楽以外で自分を映す鏡になつたよ」という時の作品が世良さん自身。それが一番いい」

「あわねばならぬのだ」

の龍を描く仕事は若師匠と狩野光信さまにしかできません。そこで二人で持場を決めてやつておられましたが、六月十五日に若師匠の足場が突然くずれたのでござります」

天守五層の高さは三十丈ちかい。久藏はそこから転落し、地面に激突して命を落とした。哲学者は、科学者同士の判断のすれば調整する役割を担える「合理主義」が揺らぐ中で科学のありようが問われているだけではない。哲学者もまたどうあるべきかを問われている」と加藤は考える。

等伯は衝撃のあまり意識が遠のきそうになつた。

「分りません。高い所なので、念には念を入れて組み上げたのですが」

「材木は何を使つた。結びの綱は麻入りを用いた」「材木が調達できませんでしたので竹を用いましたが、強さに問題はありませんでした。綱は棕櫚をませてない上げたもので、何人が乗つても切れないので二重三重に巻いておりました」

「それなら何故くずれた。何故久藏がそんな目に遭つたのです」

「甘党で日吉に鏡になつた。亮太郎くんによれば「何も考えず作り始めてみると、陶芸は音楽以外で自分を映す鏡になつたよ」という時の作品が世良さん自身。それが一番いい」

「あわ